

自己評価

評価項目		評価指標	取組状況・成果	評価	
大	中				
学力向上	①学力向上のための組織的な研修等	・学テ、到達度把握研修会（年3回）	○学テ、到達度把握研修会を計画通り行い、課題等を把握し重点内容を決定して取組を進めた。	4	3.7
	②子どもにわかる授業づくり	・わかりやすい授業の肯定的評価80%以上 ・ICTを活用した授業実施（算数科） ・授業力診断平均3.5以上 ・一人学習の手引き作成	○複式授業の基本的研修会を実施できた。 ○算数科において、ICT機器を活用して授業改善を行った。 ○学校評価アンケートの結果、全児童が授業が楽しいと肯定的評価をしている。 ▲授業力診断の結果、3.4であった。 ○一人学習の手引きを作成し、日々の学習に活用した。 ○講師を招聘しての公開授業研究ができた。（年3回） △研究授業で評価表を取り入れて、授業改善を図った。 ○複式授業のスタンダード化ができた。	3.3	
	③予習・復習の質と量をもつ高める取組	・家庭学習目標達成80% ・家庭学習をしている児童の割合80%以上 ・自主学習1日1ページ	○家庭学習目標を全員が達成している。 ○家庭学習をしている児童の割合は100%である。 ○家庭学習強化週間をもうけて啓発活動を推進した。（二学期以降毎月） ○自主学習の目標を達成できた。	4	
	④基礎学力の定着を図る取組	・1年から自学年の漢字100点 ・各学年の計算問題100点 ・単元テスト県平均以上	△他学年の漢字と計算問題については確認できていないが、該当学年の漢字と計算問題の平均は、それぞれ90点と95点であった。 ○算数単元テストの結果、全部100点	3.3	

4 段階評価（4 目標を十分に達成 3 ほぼ目標を達成 2 やや不十分 1 改善を要する）